

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長	齋藤 政徳
都整-13	実施事業	交通安全施設維持事業	■ 自治事務	主管課 道路課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全な通行を確保し、事故防止を図る。
効果	交通の円滑化、安全性の向上を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	2,711	5,601	当初予算(千円)	6,671			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	2,711	5,601	一般財源	6,671			
	人員配置数	0.4	0.4	人員配置数	0.4			
	人件費(千円)	3,320	3,333	人件費(千円)	3,361			
事業経費運営	総事業費(千円)	6,031	8,934	総事業費(千円)	10,032			
	市民1人当りの経費(円)	34	51	市民1人当りの経費(円)	57			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成29年度から道路ライン等設置の委託料が増大したことにより、市民要望等に対し、対応できていることから、現状維持とする。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・道路ライン等については、通学路点検パトロール等において、保護者や地元住民からの様々な設置要望を受けていること、また、交通事故削減についても一定の効果が期待できることから、平成29年度から予算が増大している。現行の予算内で対応できているため、現状維持とする。 ・安全で円滑な交通の確保については、道路ライン等による視認性の確保が効果的と考えているため、道路ラインの補修やカラー舗装化等の実施により、交通事故の削減を図っていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	交通事故対策及び交通の円滑化を図るため、交通安全施設の整備は急務であるが、道路幅員等の制約がある中で効果的な対応には限界がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	現場状況に合わせた交差点のカラー舗装化や道路ラインの設置など、実現可能で有効な対策を実施することにより、交通の円滑化及び事故の抑止への取組を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民要望等の依頼はほぼ完了しているが、多くの時間の事務量が必要となる契約手続(複数社からの見積徴取や数十社との単価契約)や予算の増大にともない年6回の発注業務(路線選定、警察協議、測量、発注指示書の送付)になるなど、発注手続に係る事務量も増大している。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--